

発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
編集責任者
広報係 杉淵佐一郎
(合川町役場総務課)
(TEL合川4番)
(1回発行部数2,500)
定価 1部 5円

議案は査定後に

34^上 皇山町長はこのほど町各課（關係委員会）に対して明三十四年度予算編成に関する資料の提出を求めるとともに、前年度以上に財政事情が圧迫されることも考慮されるので、とくに次の事項に留意して予算編成を行うよう指示した。

◆昭和三十四年度予算編成の基本方針（留意事項）
一、政府の地方財政画定の方針並びに県の予算編成方針指示及び昭和三十三年度における町の財政状況に鑑み町財政に赤字を招来することのないようにすること。
二、諸物価の変動や人件費の増大が明年度の一般経常費に影響することとなるが、なおいつそう抑制の措置を必要とするので消費的経常費の計上については高率的な編成に意を用い、全くあたらしい観念をもつて作成すること。
三、年度開始後における財政事情の変動あるいは社会一般情勢の変動及び不慮の災害等による財政構造の組替を必要とする場合も例年に見られるが、この場合は財源の見透し及び財政再建計画の変更承認後に措置されなければならぬものであるから、一般的な年間の見透しを捕捉しあくまでも確定通年予算とするようにし、いやしくも年度途中における追加更正を予期するような観念は一掃すること。
四、国県補助、起債、寄附金等いわゆる他力財源によるものについては、事

||ことしの新入生|| (二)

今春四月町内各小学校へ隆一、関博保、疋田紀、工藤正則、工藤和則、関耕造、工藤勇作、工藤俊夫、工藤一夫、関富男、工藤秀悦、関昭一、疋田昇、疋田光雄、戸沢政幸、松橋美喜子、工藤榮子、和田まり子、関早苗、二階堂良子、工藤庄子員会まで御連絡下さい。

合川町教育委員会 関ヒデ子、関エミ子、関裕
電話六二番子、正田和子、米倉喜美子

(道城)
松橋雄造、松橋博、関良一
後藤克博、松井吉美、後藤
光夫、庄司久夫、木村秀雄

小林久、松橋利美、松橋良太郎、後藤三夫、後藤正一、櫻井美保子、森岡静子、畠山優子、敦子、田口信子、木村みち子、永坂優子、森岡恵美子、松子、木村啓子、桜井美保子

橋カツエ、小林恵子、松橋
まい子、小林チエ

石坂和賀子
(川井)

(上杉)
工藤久治、工藤幹久、正田茂男、佐藤耕基、工藤一美
佐藤徳信、佐藤文明、佐藤

及び財政再建計画の変更承認後に措置されなければならぬものであるから、一般的な年間の見通しを捕捉しあくまでも確定通年予算とするようにし、いやしくも年度途中における追加更正を予期するような観念は一掃すること。

経済課で関係者の打合せひらく

前にできるだけ関係筋を調査し確実な限度内にとどめ歳入欠陥を生ずることのないようにすること
なお、明年度予算案については総務課長、助役、町長の査定及び県当局との協議の段階を経て町議会に提案されることになっている。

りであつたが、各關係機関の意見が明年度予算に大いに反映されるものとみられている。

◇病害虫防除關係

①防除機具の購入整備につ

明年度入所児童を募集

町内の各保育所では三十とである。
年度の入所児童を次のとおり募集することになった。
適格児童が多数応募されるようにと望んでいる。

また私立保育所（根田鎌沢）については直接面談所へ申込みのこと。
期間は二月末日まで。

慶弔だより

（自一、二、三）
（至一、二、三）

出生（二七）

工藤吉子、勇一孫、上
吉田行雄、政次長男、川

い
て

- ② 病害虫防除員について
- ③ 病害虫防除競技会開催について
- ④ 機具取扱い講習会について
- ⑤ 一斉防除費の助成について

◇ 農業改良関係

- ① 農産品評会について
- ② 米多収穫競技会について
- ③ 堆肥品評会について
- ④ 農業技術指導について
- ⑤ 土壌改良について

◇ 酪農関係

- ① 集約牧野造成について
- ② 草地改良について
- ③ 乳牛の導入について
- ④ 集乳組織の確立について
- ⑤ 牛乳の販路拡張について
- ⑥ 酪農学院分校の設置について

◇ 農業振興対策

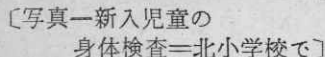
- ① 農業実践班の活動について
- ② 県外派遣農業実習生について
- ③ 二、三男対策について

新入児の健康診断おわる

ことし四月小学校に入学する子どもたちの健康診断と知能テストがさきごろ町内各小学校でおこなわれた。幼児クラスから一階級進んでもうすぐ一年生!!という喜びもひとしおでつきそいのお母さんたちもうれしそう……。

先生がたからの知能テストを受けたが、知能テストでは日ごろのわんぱくぶりもどこへやら神妙な表情の子どもたちが多かつた。

ことしの新入児童は昨年より二十四名多い三百十五名で、四月一日には晴れていさん、ねえさんたちの



生徒募集要項(昭和三十四年度)

位にのし上つたが、人口に
対比してみるとまだまだで
この方はベストテンにも入
らぬ世界で第二一番目とい
う実状ということである。

一、募集人員
◎普通科男子五〇名
◎研究科男子三〇名

二 修業年限
各一カ年（昭和三十四年四月四日より昭和三十五年三月三日まで）
なお普通科卒業生は選考により研究科に進学することができる。

三、応募資格
将来農業を営もうとする青少年で次の条件を備えた者。

1、普通科 ◎学校教育法第四十七条の規定に該当する者(中学校卒業者又は卒業見込の者)

2、研究科
(イ)学校教育法第五十六条第一項の規定に該當する者(高等学校卒業業者又は卒業見込の者)

若しくは同程度の学力と認められる者）（已）
 當場普通科の課程を終了した者（ハ）中学校

卒業後二カ年以上農業に従事した者

四、応募手続き

1、応募する者は次の書類を二枚の用紙に記入し、

として五円切手一枚添えて農場長に提出すること（イ）申請書（同様式自製でもよい）（ロ）

最終学校の卒業年度の成績証明書 (ハ)健康診断書 (ニ)農業改良普及事務所又は市町村長若しくは出身学校長の推薦書 (ホ)写真、主

長表しくい日身学校長の推薦書（ホ）写真（正
面脱帽上半身名刺型で申請前六カ月以内に撮
影したもの）

2、出願期限 二月二十一日まで当場に必着のこと。

3、受付の分は文して受験証を送付する。

5、入場選考

1、選考月日 三月一日(日)午前九時より。

2、考查課目 社会、国語、数学、口答試問。
3、選考場所 秋田市、横手市、鷹巣町の三カ

所で行う予定であるから出願の際希望受験地を記入すること。

1、授業料、舎費等は徴収しない。
2、食費 ◎主食は本人負担(年間一石四斗六

升 保有米相兰量) ◎畠食費は農場より月
一、〇〇〇円を支給し、本人負担は月二〇〇
円とする。

3、教科書、小農具代―入場の際普通科四、〇〇〇円、研究科四、五〇〇円程度納入する。

七、入 舎
生徒は全員寮に宿泊。
八、その他

合格者には三月中旬書面をもつて通知する。

町内
四
中
学
校

卒業生の動向

と数多
た。
を割愛
した
が
から
お

平いに
市内
決定し
先によ
不満も
ことを
第でに
は、
定、あ
などを

ついでお答え

△摩 当 (一三〇) 四、一〇〇円	▽芹 沢 (四三) 三、一五〇円
当局の交換台に現在市内要員の技術の研究には常に 二、市外台一となつており ますが、市内台には普通 状態として加入者数七〇 度を収容することになつ おるにもかかわらず、当 の場合、この基準をは かにオーバする二〇〇加 者(一台につき一〇〇加 も収容している実情で	意を用いているところであ りますが、御指摘のような 事実があることをまことに 遺憾に思いますので、今後 十分に注意する所存であり ます。 電々公社の委託業務を取 扱う責任者として、当局の 実情についてはその改善方
反別、樹種、本数、伐採 年度を調査の上当組合事	理由に逃げ口上を申し上 るものでは御座りません。 加入者の皆さんの声は事業 発展のための正しい世論と してお受けし、事業面へと しどし反映させていきたい と存じますので、なおいつ そこの御指導と御協力をお 願ひする次第であります。 (合川郵便局長)

売買はよく注意して――

とるが、この制限を無
と貴客と売買を行なつ
成功した土地は売渡後五年目
に成功検査があり、その後
二年、農地法によつて売渡
された土地は三年目に成功
検査、その後五年でなければ
は売買出来ないことになつ
ている。

森組だより

春季造林希望者は
早目にお申込を!!

昭和三十年度春季造林
義勝君、松岡敏二君（東
三川）

一、〇〇〇円 齋藤 孝
一、〇〇〇円 岩沢 徳
一、〇〇〇円 佐々木 豊
(以上二月五日現在)

あとがき

今月は福岡榮さん、杉
山勝君、松岡敏二君（東
三川）

月は福岡栄さん
君、松岡敏二君

野区在住）それに川合、合川郵便局と数回の都合で大部分を割るの止むなきに至つた。桐された各位に心から申上げる次第です。

(34・25ⅡS)